日本臨床腎移植学会雑誌　投稿規定

掲載対象：日本臨床腎移植学会雑誌（以下，本学会誌）は腎移植並びにこれに関連する領域の進歩，発展に寄与することを目的とした学術論文を掲載する。

投稿資格：筆頭著者と代表著者（Corresponding author）は本学会員であることを要する。ただし，編集委員会あるいは学会からの依頼原稿の場合にはその限りではない。

同意書の提出：必要事項を記入し，論文投稿時に添付する。

誓約書の提出：原著論文に限り，必要事項を記入し，論文投稿時に添付する。

倫理性の担保：ヒトを対象とした投稿論文は「ヘルシンキ宣言（1964 年承認，以降の改訂を含む）」「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（以降の改訂を含む）」および日本移植学会倫理指針（http://www.asas.or.jp/jst/pdf/info_20120920.pdf）を遵守するものでなければならない。ヒトを対象とする研究においては，患者等の人権を配慮し匿名性を十分守ったうえで，所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得て，論文中に研究課題名と承認番号を記載する。

腎移植を扱った投稿論文では，著者は当該論文中で報告される腎移植が「臓器取引と移植ツーリズムに関するイスタンブール宣言（以降の改訂を含む）」に従って実施されたことを確認し，論文中に「研究はイスタンブール宣言に従った」と明記しなければならない。

ヒトゲノムに関する研究については，各施設あるいは関係省庁等から出された倫理規定に則って行われた旨，ならびに研究課題名と承認番号を論文中に明記する。

動物を用いた研究については日本学術会議による「動物実験の適正な実施に向けたガイドライン」およびこれらに準ずる指針の規定を遵守する。

個人情報の管理：「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/seisaku/kojin/dl/170805-11a.pdf」（厚生労働省）に従い，個人情報管理の観点より容易に個人が特定されないよう十分に配慮する。特定の患者・利用者の症例や事例を学会で発表する場合等は，氏名，生年月日，住所等を消去することで匿名化されると考えられるが，症例や事例により十分な匿名化が困難な場合は，本人の同意を得る必要がある。

利益相反について：本学会の医学研究の利益相反（COI）に関する指針の細則 第 3 条を遵守する。また，筆頭著者ならびに共著者はそれぞれ利益相反報告書（様式 1）の必要事項を記入し，論文投稿時に添付する。

図表の引用，転載について：他誌よりの引用，転載を行う場合には，著者らが版権所有者からの転載許諾を得，その旨を図表の脚注に記載する。

原稿様式：

1）投稿論文のカテゴリーは，（1）総説，（2）原著，（3）臨床研究報告，（4）症例報告，（5）看護研究報告，（6）コーディネーター研究報告，（7）学会委員会報告，（8）その他（活動紹介・活動報告，施設紹介，海外留学体験記，研究会記録），（9）Letter to the editor とする。なお，原著および総説には英文表紙と英文要約を必須とする。原著は初回投稿時に英文校正証明書を添付する。
投稿者は全てのカテゴリーに投稿可能であり，投稿時に希望のカテゴリーを明記する。

2）**用紙**：A4 サイズ 1 段組みの原稿を用いる。

3）**ページ数**：表紙を 1 ページ目とし，順次各ページの下段中央にページ数を入れる。

4）**英文**：英文の部分はダブルスペースとし，標準的なフォント（Times New Roman など）を用いる。

Presented by Medical*Online

5) **和文**：左横書きで常用漢字，現代仮名使いを用いる。外国語は避けるが，人名，酵素名，生化学的な物質名，薬品名，地名は原則として原語を用いて表記し，英文表記の場合は固有名詞以外小文字に統一する。度量衡は CGS 単位を用いて表記する。繰り返す用語については略語の使用も可能であるが，初出時には完全用語記載の後，括弧を用いて略語を表記する。

6) **原稿の長さ**：原稿の長さは刷り上がり（図・表・文献を含む）として下記に示すように規定する。

総説：8 頁（13,500 文字以内）※依頼に関して，頁数超過の実費負担は該当しない。

原著：6 頁（9,000 文字以内）

臨床研究報告，症例報告，看護研究報告，コーディネーター研究報告，学会委員会報告：4 頁（5,000 文字以内）

その他（活動紹介・活動報告，施設紹介，海外留学体験記，研究会記録）：2 頁（3,000 文字以内，図表を含む。なお研究会記録に関しては，図表を合わせて 2 枚以内とする。）

Letter to the editor：1 頁（1,000 文字以内）

図，表，写真は 1 枚 600 文字相当とする。

原稿形式：

原稿は以下の形式とし，総説および原著には英文表紙と英文要約を必須とする。

総説，原著：和文表紙→英文表紙→和文要約→英文要約→本文→文献→表→図の説明→図

臨床研究報告，症例報告，看護研究報告，コーディネーター研究報告，学会委員会報告：和文表紙→和文要約→本文→文献→表→図の説明→図

その他（活動紹介・活動報告，施設紹介，海外留学体験記，研究会記録），Letter to the editor：和文表紙→本文

1) **和文表紙**：

論文カテゴリー，論文表題，著者名，所属，連絡先（代表著者の姓名，所属，職名，住所，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス）

2) **英文表紙**：

論文表題，著者名，所属，連絡先（代表著者の姓名，所属，職名，住所，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス）の英語表記。

3) **和文要約**：

研究目的，方法，結果，結論を明記し，400 文字以内でまとめる。

Key words 5 語以内を表記する。

4) **英文要約**：

英文要約を 250 words 以内で作成する。英語の Key words 5 語以内を表記する。

5) **本文**：

総説：緒言→解説的な考察→結論→利益相反の開示

原著：緒言→対象・方法→結果→考察→結論→利益相反の開示

臨床研究報告：緒言→対象・方法→結果→考察→結論→利益相反の開示

症例報告：緒言→症例→考察→結論→利益相反の開示

看護研究報告，コーディネーター研究報告：①緒言→対象・方法→結果→考察→結論→利益相反の開示

または②緒言→症例→考察→結論→利益相反の開示

学会委員会報告：緒言→報告→結論→利益相反の開示

その他（活動紹介・活動報告，施設紹介，海外留学体験記，研究会記録），Letter to the editor：自由形式→利益相反の開示

の順に記載する。

結論あるいは結びの後に「利益相反に関する開示」について表記する。

6) **文献**

引用文献は最小限にとどめ，引用の都度に本文中の肩番号にて表記し，末尾に一括して次の形式で記載する。

Presented by Medical*Online

文献の著者は3名まで記載し，4名以上の場合は「他」,「et al」とする。
雑誌の場合：著者名，論文題名，雑誌略名（類似雑誌名の場合には発行地），西暦年号，巻，初頁 - 終頁の順に記載する。
単行本の場合：著者名，章題名，編者名，書名，発行地，発行所，発行年，初頁 - 終頁の順に記載する。
雑誌の略名は英文の場合 Index Medicus，和文の場合には医学中央雑誌を参照する。
略名がない場合はそのまま雑誌名を記載する。
（例）雑誌の場合
本田隆宏，高木健，田口正巳，他．ハムスター - ラット間の異種心移植における脾臓摘出の効果とその免疫学的機序．移植 1993；28：186-91.

Moses RD, You CH, Lee KY, et al. Induction of long-term survival of hamster heart xenografts in rats. Transplantation 1993 ; 79 : 311-4.

（例）単行本の場合
筑波太郎．臓器移植の将来．木本綱政，石橋幹編．21 世紀における移植医療．東京：医書出版社，1993：100-30.

Weinstein L, Swarts MN. Pathologic properties of invading microorganisms. In : Sodemasn WA Jr, Sodeman WA ed. Pathologic physiology : Mechanisms of disease. Philadelphia : Saunders, 1993 : 457-72.

7）表

表の記載と本文中の記載が重複しないようにする。Excel や Word を用いて表を作成し，画像化しない。表題を上段に，表説明を下段に記載し，縦罫線は用いない。各表は表1，表2のように順番をつけて別の頁に印刷し，本文中に挿入箇所を（　）で明示する。

8）図

そのまま製版できるように配慮する。JPEG，TIFF ファイル，PDF ファイル，もしくは PPT ファイル（パワーポイントファイル）にて保存する。写真，図表は原則白黒印刷であり，白黒印刷で判別可能なものにする。電子顕微鏡写真や組織写真など拡大倍率や大きさを表示する必要がある場合には図内にスケールを入れる。患者の写真を使用する際には許諾を得て，その旨を記載する。許諾の取得が不可能な場合には個人特定が不可能になるように配慮する。
各図は，図1，図2のように順番をつけ，表と同じように本文とは別に別頁に印刷し，裏面に図の上方と筆頭演者を記載する。表と同様に本文中に挿入箇所を（　）で明示する。なお，論文投稿に際し E-mail での送付を行う場合には，図の上下方向と各図の判別が可能なように配慮する。

9）図の説明

図の表題と説明は，本文とは別にまとめて記載する。

投稿・原稿送付先

投稿方法は以下の2つの方法のいずれかを選択する。

1）簡易書留郵便による送付

投稿原稿原本とそのコピー3部（図内に写真を有する場合も写真原画1部とコピー3部）およびこれらを記録した電子媒体（CD-ROM，DVD-ROM，USB メモリ）および同意書，誓約書（原著論文のみ），共著者を含めたすべての著者の利益相反報告書（様式1）を同封し連絡先を明記して送付先に簡易書留郵便にて送付する。
尚，郵送された原稿，電子媒体は返送しない。

2）E-mail を用いた送信

原稿ファイルおよび署名の上スキャンニングして PDF ファイルに取り込んだ同意書，誓約書（原著論文のみ），共著者を含めたすべての著者の利益相反報告書（様式1）を添付し，下記メールアドレスに送信する。

Presented by Medical*Online

ただし，受信確認メールが 1 週間以内に届かない場合には，電話にて確認する。

原稿送付先：〒 113-0033　東京都文京区本郷 2-27-18　本郷 BN ビル 2 階
医学図書出版株式会社内
日本臨床腎移植学会雑誌編集委員会
TEL.03-3811-8210　　FAX.03-3811-8236
メールアドレス：jscrt@igakutosho.co.jp

審査

投稿原稿の採否，掲載時期（掲載順）は複数の査読者の意見を参考に，編集委員会において決定する。原稿の体裁，長さ，文体に関して編集委員会より著者に改変を求めることがある。査読により論文修正が必要な場合には，著者は指定期間内に修正論文を返送する。

校正

著者校正は初校のみの 1 回とし，誤植の訂正にとどめ文章の挿入，削除，内容の改変は認めない。校正は朱筆にて行い編集者指定の期日までに返送する。また，著者校正後においても，編集委員会の責任において若干の字句の訂正を行う場合がある。

別刷

別刷を希望する場合には有料にて 50 部単位にて作成する。責任著者以外の別刷請求には応じず，著者校正以降の別刷請求は別料金となる。

投稿料・掲載料

規定頁数内での投稿に関しては無料とする。規定の頁数を超過する場合には，著者の実費負担とする。また，トレーシングなどの図表作成費用や特別な印刷技術を要する場合，カラー写真掲載の希望する場合には，著者の実費負担とする。なお，依頼原稿はこの限りでない。

著作権

本学会誌に掲載する著作物またはこれを原著作物とする二次著作物の著作権およびこれら著作物の複写，複製，転載，翻訳，データベースへの取り込みおよび送信などの権利は信託財産として日本臨床腎移植学会に帰属する。

（2013 年 1 月 30 日制定）
（2013 年 7 月 14 日改訂）
（2014 年 3 月 12 日改訂）
（2015 年 6 月 22 日改訂）
（2016 年 9 月 29 日改訂）
（2017 年 2 月 15 日改訂）
（2019 年 2 月 13 日改訂）
（2020 年 2 月 19 日改訂）
（2024 年 2 月 27 日改訂）

Presented by Medical*Online

筆頭著者ならびに共著者の同意書

論文カテゴリー：総説・原著・臨床研究報告・症例報告・看護研究報告・
コーディネーター研究報告・学会委員会報告・その他・
Letter to the editor

タイトル：

筆頭著者氏名：

代表著者氏名：

上記論文の日本臨床腎移植学会雑誌への投稿にあたり，論文の投稿・内容について，共著者全員の同意が得られていることを証明するため，共著者全員の自筆署名をここに提出いたします。

共著者名	1.	2.
	3.	4.
	5.	6.
	7.	8.
	9.	10.

（共著者が 10 名を超える場合には余白に記載してください。）

年　　月　　日

Presented by Medical*Online

誓　約　書

「日本臨床腎移植学会雑誌」

　　編集委員会　御中

著者は，下記原著論文を日本臨床腎移植学会雑誌に投稿するにあたり，

原稿の内容が国内外を問わずに他誌に未発表であることを誓約いたします。

タイトル：

年　　月　　日

筆頭著者氏名：　　㊞

代表著者氏名：　　㊞

Presented by Medical*Online

様式 1

日本臨床腎移植学会：自己申告による COI 報告書

論文題名：

（**遡って過去 1 年間以内**での発表内容に関係する企業・組織または団体との COI 状態を記載）

項目	該当の状況	有であれば、著者名：企業名などの記載
①報酬額 1 つの企業・団体から年間 100 万円以上	有 ・ 無	
②株の保有 1 つの企業から年間 100 万円以上、あるいは当該株式の 5%以上保有	有 ・ 無	
③特許権使用料 1 つにつき年間 100 万円以上	有 ・ 無	
④講演料 1 つの企業・団体から年間合計 100 万円以上	有 ・ 無	
⑤原稿料 1 つの企業・団体から年間合計 100 万円以上	有 ・ 無	
⑥研究費などの総額 1 つの医学研究に対して支払われた年間総額が 200 万円以上	有 ・ 無	
⑦奨学（奨励）寄付などの総額 1 つの企業・団体からの奨学寄付金が 1 名の研究代表者に支払われた年間総額が 200 万円以上	有 ・ 無	
⑧旅費、贈答品などの受領 1 つの企業・団体から年間 10 万円以上	有 ・ 無	

（本 COI 申告書は 2 年間保管されます）

（申告日）　　年　　月　　日

（氏　名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ㊞

Presented by Medical*Online